

平成31年3月6日  
道路局  
政策統括官付

### 子育て世代を応援！

ベビーカーが乗り越えにくい段差を効率的に発見する新技术を公募します  
～子育てに優しい歩道の整備に向けて～

世界に先駆けて少子高齢化社会を迎えた我が国において、子育て世代を応援する施策を推進していくことは非常に重要です。

このため、国土交通省では、ベビーカーを使用される方々から改善の声が多くある歩道の段差解消に向けて、効率的に段差を発見するための新たな3次元電子地図データの収集技術について、本日より公募を開始します。

来年度より、選定された新技术を活用して効率的に収集したデータや地域の子育て世代の方々の意見を伺いながら、保育所や鉄道駅周辺の歩道の段差等を効率的に解消する実証実験に取り組むとともに、車椅子等のバリアフリーマップや移動案内サービスと連携した官民連携の取り組みも進めてまいります。

#### ベビーカー使用者の声

- 歩道の幅が狭く、対面から歩行者が来ると通行しづらい
- 車輪が小さい場合、小さな段差を乗り越えることも難しい
- 側溝のふたの隙間に車輪がはまって転倒しそうになった 等



**公募期間**：平成31年3月6日(水)から平成31年3月27日(水)

**公募技術**：歩行空間のバリアフリー基準の適否を判断するための情報取得技術

【公募要件】 (1) 市販の機器を利用し、容易に情報取得が可能であること

(2) 歩道において、以下の情報が取得可能であること

①有効幅員(2m以上) ②車道に対する高さ(5cm)

③横断勾配(1%以下) ④横断歩道に接続する歩道縁端部の段差(2cm) 等

(3) 歩行空間ネットワークデータ等整備仕様書(2018年3月国土交通省政策統括官付)に基づく、歩行空間ネットワークデータへの変換が容易にできること

等

※公募の詳細は、以下のHPの公募要領をご確認ください。

[http://www.mlit.go.jp/road/road\\_mms\\_public\\_submission001.html](http://www.mlit.go.jp/road/road_mms_public_submission001.html)

<問い合わせ先>

道路局 企画課 評価室 竹林・竹中

代表:03-5253-8111(内線37672・37673) 直通:03-5253-8593 FAX:03-5253-1622

# 子育てに優しい歩道の整備に向けた取組み（概要）

## 今回公募

### <概要>

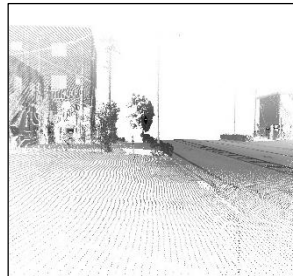
歩道のバリアフリーマップを効率的に作成するため、センシング技術を活用した電子地図データを取得

### <歩道の3次元地図データの収集>

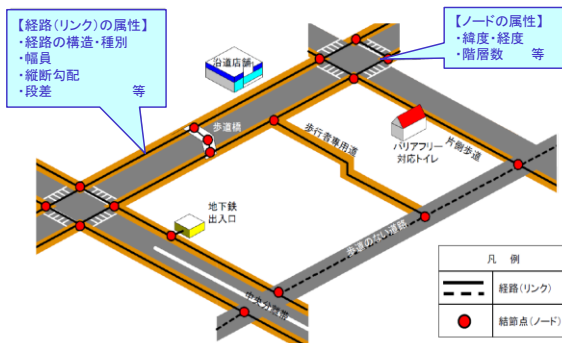
センシング技術を活用



歩道の3次元地図データ



### <歩行空間ネットワークデータ>



## 今後の活用

### 保育所や駅周辺での段差の解消



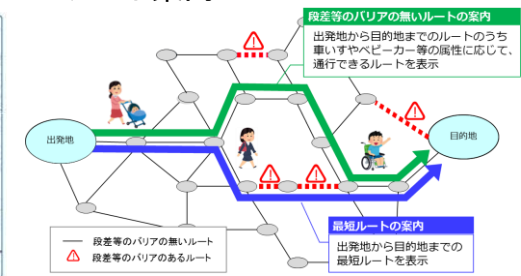
### 地方公共団体、民間事業者等の 多様な主体との連携

#### バリアフリーマップ イメージ



オリンピック・パラリンピック等経済界協議会作成

#### 個人の身体状況やニーズに応じた ルート案内



# 新技術の公募概要

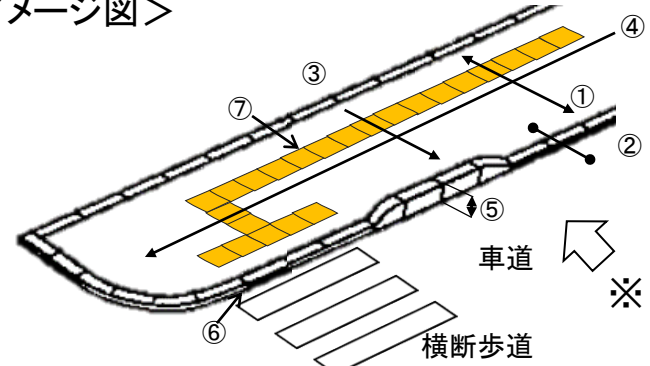
## <基本要件>

○ 市販の機器を利用し、以下①～⑦の情報を容易に取得できること

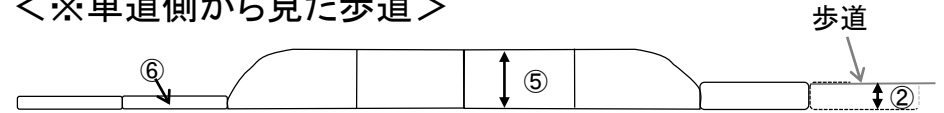
- ①歩道の有効幅員(2m以上)
- ②車道に対する歩道の高さ(5cm)
- ③歩道の横断勾配(1%以下)
- ④歩道の縦断勾配(5%以下)
- ⑤歩道に設ける縁石の車道に対する高さ(15cm)
- ⑥横断歩道に接続する歩道縁端部の段差(2cm)
- ⑦視覚障害者誘導用ブロックの設置箇所

○ 1/500の平面図、1/50の断面図の作成

## <歩道イメージ図>



## <※車道側から見た歩道>



※()はバリアフリー基準、原則基本要件は全てを満たすこと

## <公募において重視される評価項目>

計測の精度	計測した点群の隣り合う2地点間における相対的な高さ±1cm、勾配±1%
平面図作成時の標準偏差	25cm以内
歩道空間の地物の位置情報 (緯度・経度及び標高)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3次元で取得できる</li> <li>・2次元で図化できる</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行空間ネットワークデータ*の作成に活用できる</li> <li>・データの処理技術、活用方法、その他データとの関連付けに関して考慮されている</li> <li>・従来の計測技術より、導入コスト、運用コストを含めできるだけ低価格にする</li> </ul>

# 今後の進め方

今回

新技術の公募（2019.3.6～3.27）

2019年度

新技術の検証・評価

[今後の実証実験の発注の要件とする予定]

2019年度～

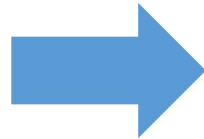
公道での実証実験（保育所等の周辺）：直轄国道事務所 等

歩行空間データ収集

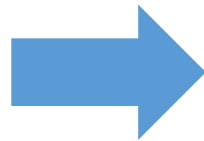


段差箇所等の改善

実施  
箇所  
拡大



官民連携での空間データ活用  
（バリアフリーマップ等への活用）



技術活用ガイドラインの作成  
⇒ 自治体における取組支援

全国展開：歩行空間データによる子育て支援・バリアフリーの実現

- ユニバーサル社会の構築に向け、障害者や高齢者を含むあらゆる人々が円滑に移動できる環境を実現するため、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及に向けた取組を推進
- 個人の身体状況やニーズに応じて移動を支援する様々な情報をスマートフォンアプリ等を通じて民間事業者により提供される環境を目指す

